

平成 26 年度科学館特別展（案）について

1 名称 「（仮称）恐竜展 中生代の王者ティラノサウルス」

2 ねらい

- (1) 子どもたちをはじめ多くの市民が関心を持つ「恐竜」をテーマに据え、古生物学をはじめとする自然科学への興味関心を深めさせる。
- (2) 恐竜時代といわれる中生代の支配者として君臨した獣脚類の進化や恐竜の羽毛獲得の過程などの研究にスポットをあて、恐竜学の最新研究の情報を各種の標本とともに展示・紹介する。
- (3) 「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in 仙台」として開催し、多くの方々に震災からの復興への希望を与える一助とする。

3 概要

恐竜は中生代の時代に繁栄した生物である。謎の多い生き物であるが、化石など研究によりその生態や進化について様々なことが分かっている。多様な恐竜たちが弱肉強食の自然界で生きていた姿は、興味が尽きないものであり、学ぶものも多い。このような「恐竜」をテーマに、恐竜の骨格標本、生態復元モデルを展示し、恐竜の進化や羽毛獲得などの研究成果を紹介し、恐竜の迫力とともに恐竜研究の面白さを伝え、古生物学に対する興味関心を高められる場を提供する。

なお、本展は国立科学博物館との共催による「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」として開催し、同館のティラノサウルス成体などの骨格標本も展示する予定である。

4 展示内容

以下のようなコーナーを設ける予定である。

(1) 「三畳紀～羽毛恐竜の起源～」

恐竜が登場してくる中生代三畳紀について紹介する。前期三畳紀の恐竜の祖先に近い「シャンシクス」、後期三畳紀の獣脚類「コエロフィシス」生態復元モデルなどを展示する。

(2) 「ジュラ紀～恐竜の巨大化～」

恐竜巨大化の時代とされるジュラ紀について紹介する。後期ジュラ紀に大型化した獣脚類「ケラトサウルス」の生態復元モデルなどを展示する。



コエロフィシス

(3) 「白亜紀～恐竜繁栄と絶滅～」

恐竜が繁栄、絶滅した白亜紀について紹介する。「ティラノサウルス成体」「ティラノサウルス亜成体」の骨格標本、「トリケラトプス」の骨格標本などを展示する。



ティラノサウルス成体

(4) 「最新恐竜研究～ティラノサウルスの謎に挑戦～」

恐竜の体色や脳などの研究関連する標本、恐竜最新系統進化、恐竜の羽毛獲得等、最新の恐竜研究に関する資料を展示する。



ティラノサウルス亜成体

(5) 「恐竜ラボ～恐竜研究者への道～」

恐竜の発掘道具、恐竜足跡化石、化石発掘地紹介パネルなどを展示する。また、発掘体験コーナーを設置し、恐竜研究に対する夢を育てるコーナーとする。

(6) 「エントランス展示」

羽毛をもつ獣脚類「ユティランヌス」の復元生態モデルなどを展示し、恐竜の羽毛獲得や獣脚類進化など、特別展のテーマに関心を持ってもらうようにする。



ユティランヌス

5 関連イベント

特別展への関心を高めるためにイベントを開催する予定である。

- (1) 講演会：恐竜をはじめとする古生物に関する内容のものを数回実施。
- (2) 化石レプリカ作成：恐竜の爪などの化石レプリカを作成する教室。
- (3) 3D恐竜ぬりえ：塗り絵をコンピュータ上で3D化するワークショップ。
- (4) 恐竜折り紙教室：いろいろな恐竜を折り紙で作成する教室。
- (5) 化石鑑定会：市民が採集した化石を鑑定。

6 運営・広報

- (1) 各コーナーにインストラクターを配置し、見学者への解説や説明を行い、展示内容をよく理解してもらえるようにする。
- (2) ポスターやリーフレットを作成し、幼稚園、小・中学校、高等学校をはじめ市内および県内各所に配布・掲示する。
- (3) 新聞等のマスメディアを通じた広報を積極的に行う。

7 効果

恐竜の代表的な存在であるティラノサウルスや、羽毛恐竜についての研究の成果を紹介することにより、恐竜をはじめとする古生物への興味を深めさせ、関心を高めることができる。子どもたちをはじめ多くの市民が、恐竜研究の世界について楽しみながら学び、自然科学に対する夢を育むことが期待される。